



遠藤社長（中央）、左が遠藤専務、右がアクリートの高野氏

オリジナルシステム販売へ

（株）エンウー 各方面からの関心高まる

「がり生姜」のトップメーカー、遠藤食品株式会社（遠藤栄社長、本社＝栃木県安蘇郡田沼町）では、2000年の7月から、一元管理を可能にしたパソコンシステムを導入し、業務体系に合わせた独自のカスタマイズを進め、オリジナルソフトを構築してきた。

その結果、人員の節減はもとより、作業改善等でかなりの成果が確実なものとして表

わってきた。こうした背景のもと、同社では各社の業態に合わせたシステムづくりと販売に特化したオリジナルシステムづくりの販

売を開始し、各方面に着実な浸透ぶりを見せている。同システムの開発元は、有限会社アクリート（宇都宮市平出町）。

漬物業界は、出荷金額で5、000億産業と言われているが、その製造規模・内容は極めてバラエティーに富んでいる。そのため、大手ソフト会社のシステムでは、どうしてもキメ細かいオリジナルティ

ーの面をカバーし切れない面があった。そこで、遠藤食品での導入・活用を踏まえて、漬物業界に広く浸透させ業界発展に貢献していきたいとしている。

◆ 漬物業界ではISO9000、ISO14000認証取得やHACCP対応が一段と進んできている中で、各社の取り組みに合わせたシステムの構築を行うことで相乗効果が一層生まれ、経費節

減、作業効率の向上、クレームの削減、品質の向上につながるとして、広く導入を呼びかけている。また、社員の急な退職等でのカバー面でも極めて有効であるとしている。

導入費用に関するひとつの目安としては、総売上げの1%位で、その具体的運用に関しては、遠藤食品を見学することで理解できる。もちろん、導入各社の情報等に関しては秘守する。

ちなみに、オリジナルシステムの主な項目としては、「受注管理」「出勤管理」「生産管理」「業務報告」「ライブラリ」となっている。概要は、次の通り。

▽受注管理：電話やFAX、電子メールによる注文を受けると、瞬時にパソコンの画面でお客の購買履歴、単価等の確認ができる。

▽出勤管理：社員の個人情報やスキル情報に加え、タイムカードとの連動による出勤状況を把握することができる。

▽生産管理：受注したデータは瞬時に売上管理、製造管理、出荷管理などに反映される。

▽業務報告：各社員が担当している進捗管理や、お客への訪問状況、スケジュール、業務報告書管理などをスムーズに行うことができる。

▽ライブラリ：各現場での人の動きをライブラリで即確認、安全管理も確実に行うことができる。



た形での別会社「株式会社エンドウ」（遠藤栄一社長＝遠藤食品㈱専務）を興し、オ